



2021年11月30日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾ミュージアム・コモンズ
新春展 2022「虎の棲む空き地」開催 (1/11~2/10)

2022年寅年の幕開けを飾る本展では、慶應義塾の多様なコレクションから、紀元前の古鏡から現代のビデオまで、「虎」のモチーフを持つ作品を紹介します。虎にまつわる作品が、地域や時代、領域を越え一所に会する特別な空間で、思いもかけない「虎」に出会ってみませんか。あわせて、KeMCo 建設時に行った発掘調査の最新情報も、コーナー展示で紹介いたします。

1. 基本情報

会 期：2022年1月11日(火)～2月10日(木)

*土日祝休館、2月6日(土)特別開館/1月31日(月)臨時休館

会 場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室 (三田キャンパス東別館)

開館時間：11:00～18:00

入 場：事前予約制 (無料)

詳 細：<https://bit.ly/3C4DMmy>

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期等が変更になることがあります。最新情報は展覧会ウェブサイト (<https://bit.ly/3C4DMmy>) をご確認ください。

2. 展覧会の概要

新たな年の挨拶にはどんな言葉やイメージを添えるでしょうか。お祝いの言葉、近況報告、親しい人の写真・・・「干支」も親しみ深いモチーフです。

2022年の干支は「寅」。十二支の三つ目、良い1日の始まりを表す「寅」には、「虎」が当てはめられ、物事の始まりの陽の気を表しています。

慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo) では、新しい年のはじまりを祝うべく空き地に虎を棲ませました。慶應義塾のコレクションから集った、さまざまな時代や地域、メディアに渡るオブジェクトが彩る空き地で、オブジェクトの中に隠れた「虎」を探してみてください。

あわせて、三田キャンパスで近年行われた発掘調査の最新情報をコーナー展示としてお届けします。新しい年の始まりに、大学の文化財を巡る活動に触れる機会となれば幸いです。

3. 主な出品作品

1. 「神人龍虎画像鏡」後漢時代（2世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
2. 「緑釉尊」前漢～後漢時代（前1～後2世紀）、文学部民族学考古学専攻
3. 「十二支歌仙歌合色紙帖」江戸時代（17世紀）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
4. 歌川広重（三代）筆 福田熊次郎（版元）「英語図解 11」、明治20年（1887）、ボン浮世絵コレクション、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
5. コンラート・グスナー『動物誌』ドイツ語訳、1606年、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）



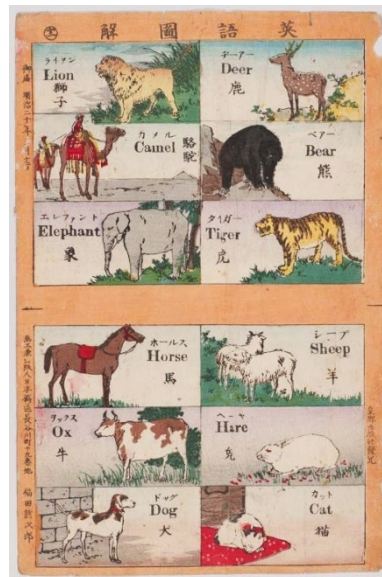
1. 「神人龍虎画像鏡」



2. 「緑釉尊」



3. 「十二支歌仙歌合色紙帖」



4. 「英語図解 11」



5. 『動物誌』

4. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・commons 東別館

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス南別館／東別館

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



ミュージアム・commons
(三田キャンパス東別館) 外観

5. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・commons

協力：慶應義塾大学アート・センター

慶應義塾大学文学部古文書室

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻

慶應義塾福澤研究センター

慶應義塾大学メディアセンター

慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>